



渋谷のパパ・ママが紹介するおすすめ本

ねむいねむいねずみとどろぼうたち

佐々木 マキ/作 PHP 研究所

絵本好きの3歳の息子のお気に入りの一冊。どろぼう退治がわくわくするようで、食い入るように絵を覗き込んでお話を聞いています。ねずみが、ねむいねむいと言いながら、しっかりどろぼうをこらしめているところがかわいい絵本です。



バムとケロのにちようび

島田 ゆか/作・絵 文溪堂

なんともくせになるかわいい絵に、5歳の子どもがぐづつです。読み聞かせた後も自分で何度もページをめくっては、細かく描かれた絵を見て楽しんでいます。大人にとっても、この絵本を読むとおうち時間が楽しく過ごせそうで、親子共々お気に入りの一冊です。



しょうぼうじどうしゃ じぶた

渡辺 茂男/作 山本 忠敬/絵 福音館書店

赤い消防車に目がない4歳の息子。クラシックな消防車のデザインに「これはなに？」と興味津々。物語が終わると、「じぶたはすごいんだよね～」とまるで自分が活躍したかのように、満足した顔をしたので思わず笑ってしまいました。



子育て中の図書館スタッフによるつぶやき・・・

「こどもと一緒に片づけよう！」

仕事に家事に忙しい時ほど、お片づけができる子になってほしいな、と思いませんか？この本を読んで、自立した生活を送る大人になるには、「掃除の方法」を知ることがとても大切と改めて感じました。親も子も一緒に片づけをすれば、部屋もきれいになってスキルも身につく、一石二鳥な一冊です。

→『10歳までに身につけたい子どもが一生困らない片づけ・そうじのコツ』

山口 由紀子/著 青春出版社



編集後記 夏ももうすぐ終わり。楽しい思い出は作れましたか？これからも体調管理に気を付けて過ごしましょう！

編集・発行 渋谷区立図書館 株式会社図書館流通センター



「シブラブ・キッズ」は、子供と保護者に役立つ情報をお届けします。



新しく図書館に入った本 ...絵本 ...読み物

ぼくとがっこう

谷川 俊太郎/文 はた こうしろう/絵 アリス館

うちにいるとぼくは子ども。ぼくはぼくでいられる。学校に行くとぼくは生徒。ぼくは大勢の中のひとりになる。なじめない中で、少しずつ自分の見たいもの、感じたいものを見つけ…。少年のかけがえのない日々を描く。



ことりのぴーと

ディック・ブルーナ/文・絵 まつおか きょうこ/訳 福音館書店

「ぼくにもはねがあったらなあ」はねのない、ことりのぴーと。ぴーとの友だちには、みなきれいな色のはねがあります。ぴーとは悲しくなりました。そこで、友だちがぴーとのためにあることを思いつき…。



ゴムブタポート

中川 ひろたか/作 日隈 みさき/絵 岩崎書店

からすに「おまえは顔もおなかもピンク色。みっともないったらありゃしない。空でも飛んで冷やすがいいぜ」と言われたこぶた。そんなもんかと、言われた通り、エイヤッと空を飛ぶと…。ゆかいなナンセンス絵本。



2021
8・9月号
3号

渋谷区立図書館HP <https://www.lib.city.shibuya.tokyo.jp/>
渋谷区立中央図書館 Tel. 03-3403-2591

i 新しく図書館に入った本（つづき）



ぼくのがっこう

鈴木 のりたけ/作・絵 PHP 研究所

かばんに道具をつめこんで、今日も学校いってきまーす！でも、毎日同じ学校じゃつまらない。たまには違う学校に行ってみよう。例えば、入り口が滝になっていたり…。こんな学校あったらいいな！学校が楽しくなる絵本。

絵



カブトムシの音がきこえる

小島 渉/文 廣野 研一/絵 福音館書店

カブトムシの一生はわずか1年。そのうちの約11か月を土の中でくらしします。幼虫を巨大化させる腐葉土のひみつ、地中最大の敵・モグラ、幼虫が群れている理由など、カブトムシの幼虫の地中での暮らしを紹介しています。

詩



野ねずみきょうだいの草花あそび

初夏から秋まで

相澤 悦子/作 長谷川 直子/絵 福音館書店

カラスウリの乳母車、キンモクセイの香りかご…。野ねずみきょうだいが、初夏から秋の身近な植物で楽しむ新しい草花あそびを紹介。新鮮で美しく、作ってみたいくなる約20種類の作品を収録。

絵



もりの100かいだてのいえ

いわい としお/作 偕成社

ふしぎな音を頼りに森の奥へ行ったオトちゃんは、音楽好きの生きものたちが暮らす大きな木の家にたどりつきました。100階で演奏会があると聞いたオトちゃんは上へと登っていき…。

「100かいだてのいえ」シリーズ第5弾。

絵

i

スタッフおすすめの本 おばけいろいろ こわ〜いおはなし



おいで…

有田 奈央/文 軽部 武宏/絵 新日本出版社

幽霊が出るという噂の、みどり公園のトイレ。うわさが広まってから、このトイレを使っている人はいないみたい。だけど犬の散歩中、ぼくはおなかが痛くなり…。空気のとどみまで表現した絵と文で、恐怖へ引きずり込む絵本。

かっぱ

柳田 国男/原作 京極 夏彦/文 北原 明日香/絵 汐文社

遠野の川には、河童が多く棲んでいるのだ。他の土地と違って、遠野の河童の顔は赤い…。京極夏彦による新たな語りと、北原明日香の絵による「遠野物語」の絵本。見返しに「遠野物語マップ」あり。



ばけねこ そろそろ

石黒 亜矢子/作 あかね書房

ねこをいじめていた俺は、母さんに「ばけねこに返しされるよ」と怒られた。そんなのこわくないよーって思っていたら、家ねこのトンも、近所ののらねこも、みーんなばけねこだった…！？

